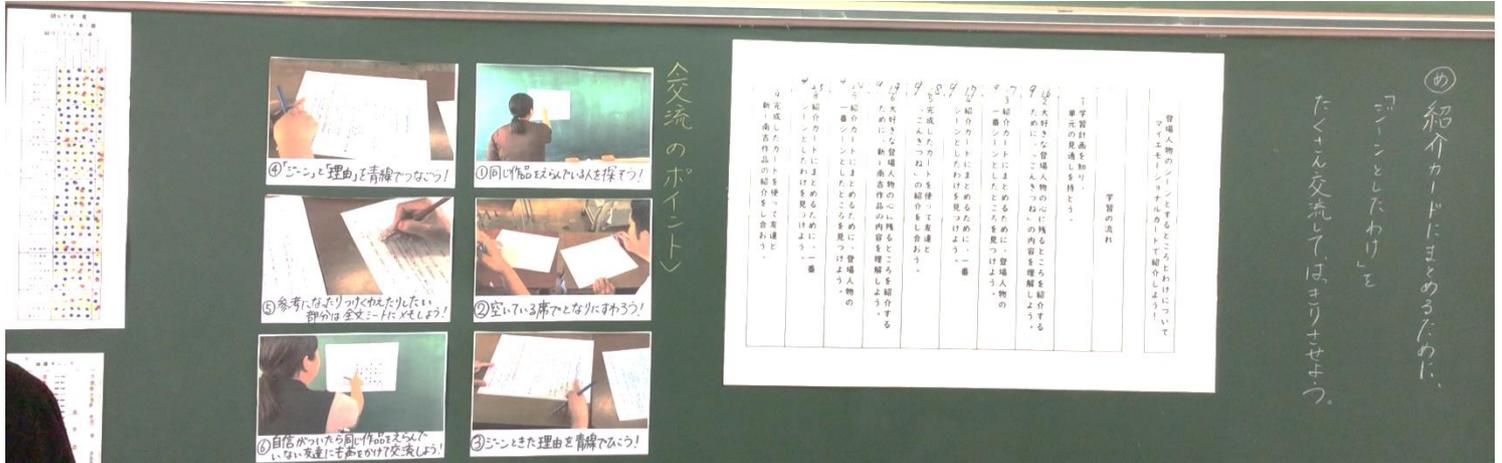


# SE 通信

2025年10月6日

4年3組 研究授業 ごんぎつね



物語文の精査解釈で、自分の読みを確立していく様子を見させていただきました。繰り返し交流をする中で、どんどん自信をもって、自分が物語を読んで、ジーンとしたところとそのわけについて話す子どもの様子が印象的でした。

交流を繰り返す中での子どもの読みが変わっていく様子はあまり見られなかったかもしれませんが、2人での交流を繰り返すという活動によって、一人一人が自分の言葉で話し、相手の考えを聞く回数は、一斉授業やグループ学習などよりもはるかに多く保障できたのではないかと思います。このように、少人数での対話活動は、子どもたちが安心して自分の思いや感じたことを表現できる環境を作り出し、互いの考えを尊重する姿勢を育てる点でも有効であると感じました。

先生方のふりかえりより

○話し合いの中で、質問したり問い返したりすることを国語以外でも子どもたちに意識させていくことが大切だと思いました。

○話すだけでなく、聞いて受け止める力も必要であると感じました。受け止める力が質問する力にもつながると考えました。普段から話の中で、質問する力を磨いていきたい。

○自分の思い入れのある本の方が真剣に話せるというのに共感したので、本はなるべく多い方がいいかなと思いました。読んでいない本も気になるし、その方がペアトークの説明も丁寧になるのかもしれないと思いました。

○子どもたちが交流を繰り返す中で自信をつけている様子が見れました。最後のカードのまとめのときにも、一人一人の時間の使い方の声掛けも素敵でした。

○自分の意見を伝えるだけでなく、相手と意見を比較したり、相手の意見を参考に読みを深めたりする話し合いの仕方を考えていくべきだと考えました。

○国語では、文章に線をひくことやメモをとること、因果関係を考えることを意識させていきたいと思います。